

USNET



USNET FEATURE
にぎわいと健康のまち、
ウォーカブルシティ



CONTENTS USNET アスネット 2022 AUTUMN No.66

- 3 USNET FEATURE
**にぎわいと健康のまち、
ウォーカブルシティー**
- 8 WORKS フジテックの納入事例 [明治大学和泉ラーニングスクエア]
- 10 PICK UP 進化するエレベータの地震対策
～長周期地震動に対する新たなセンシング技術を開発～
- 12 ニューノーマルな働き方
ヤフー株式会社 [オンライン懇親会セット]
- 13 仕事に効く！ 私のおすすめBOOK & MOVIE
[フジテック・UK編]
- 14 ご当地の名品名所 [秋田県]
- 16 エレベータ エスカレータ探訪 [あきた芸術劇場ミルハス]

にぎわいと健康のまち、 ウォーカブルシティー

まちを車中心から歩行者中心へと再構築し、
沿道と路上を人々が集い多様な活動を繰り広げられる場へと発展させる「ウォーカブルシティー」。
人々の健康意識の高まりや、高齢化による車生活の見直しなどを背景に、
近年その注目度を高めています。
徒歩での移動を中心に据えたウォーカブルシティーの実現は、
人々が積極的に街に出て交流することによる経済の活性化や地域コミュニティの醸成はもちろん、
歩くことによって個々人の健康を増進させるなど、
人と地域のそれぞれに多大なメリットをもたらしてくれるでしょう。
この特集では、まちの人の「健康」の側面から、
ウォーカブルシティーの具体的なメリットや事例を紹介します。



FROM FUJITEC

「USNET」とは

「USNET」(アスネット)は、
お客さまとフジテックが
US(私たち)となって結
ばれ、明日のより美しい都
市機能を、共に目指してい
くためのコミュニケーション
誌です。



カバーは、都市に暮らす人々の
様子や季節の移り変わりを
豊かな色彩のイラストで
表現。暖かく色づく都会の
並木道を行き交う人々にも
それぞれの秋が訪れます。
スポーツ、芸術、食欲……
さあ、どんな秋になるかな。

COVER
Illustration:
Takashi Kawakami

バックナンバーも
読んでみてね！



フジテック「安全・安心」の
シンボル「テッキー」

ウォーカブルシティの姿

歩行者を中心に据えた、新たなまちづくりの手法として注目を集めているウォーカブルシティ。まちがどう変化し、人々の健康へ何をもたらすのか見ていきましょう。

歩きたくなるまちをつくる



街路空間を広場化する、三宮クロススクエアのイメージ（兵庫県 神戸市）

画像出典：国土交通省プレスリリース（2019年12月10日発表）

にぎわいで「まちなか」再生に寄与

ウォーカブルシティとは、一言で言えば「歩きたくなるまち」のこと。車で移動を中心に考えた従来のまちづくりとは異なり、人や歩くことを中心に据え、歩行者空間の整備はもちろん、沿道にある土地の利用方法や建物の用途を含めて考える、新たなまちづくりの手法です。こうしたまちが注目を集める背景には、人々の健康意識や心身ともに充実した生活を送りたいという価値観の高まり、高齢化によって車を運転しない人が増えているなどが考えられます。

歩くことを中心に据えたまちづくりは、人々の新たな出会いや交流を創出します。そして、来街者の増加や経済の活性化、それによるシビックプライド^{*}の醸成など、まちにさまざまなメリットをもたらします。事実、歩行者空間にある小売店や飲食店の売り上げは、非歩行

者空間にある店舗よりも、売り上げが高くなる傾向にあるという研究データもあり、ウォーカブルなまちづくりは地域経済の活性化に大いに貢献すると言えるでしょう。そのためウォーカブルシティを目指す取り組みは、日本の地方都市を中心とした「まちなか」再生の一助として多くの自治体や国によって進められています。2020年には、国土交通省は歩きたくなるまちをつくるための具体策や基本的な考え方をまとめたガイドラインを発表し、多くの自治体がこのガイドラインを参考にしたまちづくり施策を推進。また、居心地が良く歩きたくなるまちなかづくりに取り組んだまちとして国内の331の地方公共団体が「ウォーカブル推進都市」に登録される（2022年8月末時点）など、その機運はさらに広がりをを見せています。



北九州市立大学 地域戦略研究所/
地域創生学群 准教授

小林 敏樹氏

九州大学大学院工学研究院 助教、慶應義塾大学SFC研究所 上席所員、（一財）土地総合研究所 研究員などを経て、2016年から現職。さまざまな視点から持続可能な都市・地域づくりに携わる。専門は都市計画、まちづくり、エリアマネジメント。主な著書『エリアマネジメント・ケースメソッド：官民連携による地域経営の教科書』（共著）学芸出版社。

市民の健康を促進する、歩きたくなるまちづくり

身体面へのメリット



歩くことは、脳や免疫機能を活性化させるだけでなく、体脂肪の減少や代謝向上によるメタボ予防などにも効果があるとされています。1日1時間以上歩く人の平均余命は長く、生涯医療費も低くなるという研究結果もあることから、歩くことを習慣化するメリットは計り知れません。

まちでできる具体的な施策

▶ストリートファニチャーを設置する

まちにベンチやテーブルなどのストリートファニチャーを設置することで、人々の会話や多様なアクティビティの拠点に。

▶グランドレベル（1階）の使い方を見直す

建物の1階を訪れやすい雰囲気の店舗や施設にすることで、来訪者を増やす。行きたいと思える場所が増えれば、ますます出掛けたいまちになる。

▶まち歩きのためのツールを作る

まち歩きのきっかけをつくる冊子やマップ、アプリといったツールを充実させることで、まちの人に日常的に歩いてもらえる環境や仕組みを整える。

ウォーカブルシティの実現は、そこで暮らす人々の身体面はもちろん、精神面の健康にも効果を発揮します。歩きたくなるまちが健康にもたらすメリットや、そのためにまちづくりでできることについて解説します。

精神面へのメリット



まちを歩くことは、気分転換やストレス発散になるほか、他の人との交流やアクティビティを生み出します。これらがまちの人の生きがいや助け合い精神を芽生えさせ、シビックプライド^{*}を醸成。まちが活性化することでさらなる充実感も得られるなど、まちや市民にとっての好循環をつくり出します。

まちでできる具体的な施策

▶街路樹や芝生、水辺空間などの設置で、自然へのアクセスを高める

自然との触れ合いは、ストレスや慢性疾患、うつ病、認知機能の改善などに効果があるとされており、精神面の健康促進が期待できる。

▶コミュニティ施設や健康拠点を設置する

交流拠点の設置によって、まちの人の顔見知りが増える。日々のちょっとしたあいさつや活動は、身体面だけでなく精神面の安定につながることも。

▶まちのステークホルダーを巻き込んでまちづくり全体のマネジメントを行う

行政だけでなく、住民や来訪者など、まちに関わる全ての人が連携してまちのマネジメントを行うことは、シビックプライド^{*}の醸成につながる。

にぎわうまちを目指して

CASE 1 東京都 豊島区

▶▶ 南池袋公園



写真提供：豊島区

公園を起点に、まちのにぎわいを創出

2016年4月にリニューアルオープンした南池袋公園。今でこそ多くの人に憩いの場として親しまれるこの公園ですが、以前は治安の悪化により、まちの人が近寄り難かったほか、公園の管理費の高騰が課題となっていました。しかし2007年、公園の地下に変電設備を建設したいという電力会社の提案を機に、リニューアル計画が進行。「都市のリビング」をコンセプトに、園内に芝生の広場やカフェレストランを設置することで、開放的で、気軽に訪れやすい現在の姿へと生まれ変わりました。

この公園の特徴的な取り組みの一つが、独自の収益モデルを構築した点です。カフェの使用料や電力会社などから支払われる占有料と、「地域還元費」として園内のカフェレストランから提供される売り上げの一部を、公園の維持管理や園内の芝生の手入れに生かすことで、区の予算を圧迫することなく公園を運営できるようになりました。

人が集まるのが公園維持につながり、それがさらに多くの人を集める要素になるという、理想的なサイクルを生み出しています。

まちづくりのポイント

POINT 1 カフェレストランの設置



公園内に設置されたカフェレストランには、朝から晩まで多くの利用者が訪れ、公園のにぎわいの核に。災害時には、帰宅困難者の炊き出し支援の拠点としても機能します。

POINT 2 イベントの開催



マルシェや野外シネマなど、園内はもちろん隣接する大通りを含めたイベントを定期的に開催することで、にぎわいを公園内から地域全体に広げています。

実施までのロードマップ

- 2007年 ● 公園の地下に変電所を設置する計画がスタート
- 2009年 9月 ● 南池袋公園閉鎖
- 2013年 ● 平賀達也^{※1}氏に、南池袋公園の総合プロデュースを依頼
- 2014年 10月～ ● リニューアル工事開始
- 2016年 4月 ● 南池袋公園リニューアルオープン「南池袋公園をよくする会」^{※2}が発足

※1 ランドスケープ・プラス代表。豊島区新庁舎のランドスケープを手掛ける

※2 豊島区をはじめ、地元町会や商店会の代表者、隣接する寺町関係者や学識経験者、カフェレストランの事業者代表による南池袋公園の運営組織。

ウォークブルシティへの取り組みは全国の自治体で始まっています。ここでは、中でもまちのにぎわいと市民の健康づくりを目指している事例を紹介します。

CASE 2 福岡県 飯塚市

▶▶ スマートウエルネスシティ



歩きたくなる工夫で“^{けんこう}健康な”まちづくり

福岡県の中央部、筑豊地域に位置する飯塚市。かつて石炭産業が栄え、炭鉱労働者のけがや病気を治療する施設が多く建てられたことから、今でも中心市街地に多くの医療関連施設が集積しています。飯塚市はこのような特徴から、地域産業としてヘルスケアの推進に注目。2011年にはスマートウエルネスシティ^{※1}へ参画し、「健康都市いづか」をキーワードに、健康^{※2}を中核としたまちづくりや、健康づくりの推進を柱に掲げた施策を推進。「すべての人が健康でいきいきと笑顔で暮らせるまち」の実

現を目指しています。市民や来街者が集い、交流できる健康拠点の設置や中心市街地を歩いて回遊できるように整備することで、まちの回遊者数の増加や市民の健康を増進。また健康ポイントサービスも導入することで、市民一人一人が健康づくりに能動的に取り組める環境を整えるなど、医療費や介護費の削減につながるさまざまな成果を上げています。

※1 歩くことを基本としたまちづくりによって、身体面の健康とともに、人々が生きがいを感じながら豊かな生活を送れるまちを目指す団体

※2 個々人が、健康かつ生きがいを持ち、安全安心で豊かな生活を営むこと

まちづくりのポイント

POINT 1 健康拠点の設置



運動を中心に多目的な利用が可能な「健康プラザ」や、バスターミナルと医療施設、住居を併設した「サンメディラック飯塚」を設置し、人々のにぎわいや交流を創出。

「サンメディラック飯塚」の建物外観

POINT 2 健康ポイントサービスの導入



歩数や体組成の測定値、歩いて参加するイベントなどでためたポイントを景品と交換できるサービスを導入。2021年度時点で登録者は2,329人に達し、市民の健康促進を図っています。

飯塚市で導入されている健康ポイントサービスのアプリの例
左：ヘルスプラネット Walk
右：からだカルテ



明治大学和泉ラーニングスクエア

[東京・杉並]

新しい学びの場で スムーズな移動を実現

明治大学和泉キャンパスに、2022年春に完成した地上8階建ての教育棟「和泉ラーニングスクエア」。大小さまざまな教室はもちろん、用途に合わせて、学生が自由に使える個性的な木枠で囲まれたベンチが所々に設けられるなど、学習意欲をかき立てる環境が整えられています。吹き抜け部分には、フジテックのエレベータ4台とエスカレータ12台を設置しています。グレー基調の建物にダークシルバーマトリックのモダンなデザインがマッチ。学生のスムーズな移動をサポートしています。

OUTLINE

施主：学校法人明治大学
設計・監理：株式会社松田平田設計
施工：戸田建設株式会社
竣工：2022年



SPEC

設置台数：エレベータ4台
エスカレータ12台

エレベータ意匠

■乗場
枠、ドア：鋼板塗装（5GAB011：ダークシルバーマトリック）

■かご
側壁：3Mダイノックシート
ドア：鋼板塗装（5GAB011：ダークシルバーマトリック）

天井：DX-14 / 鋼板塗装（5GAB001：ホワイト）

床：ゴムタイル（R934：オイスター）

進化するエレベータの地震対策

～長周期地震動に対する新たなセンシング技術を開発～

世界有数の地震大国・日本。フジテックは、日本の昇降機専門メーカーとして、エレベータの地震対策に取り組んできました。今回、高層建物の長周期地震動に対する新たなセンシング技術の開発に成功。その技術や仕組みをご紹介します。

フジテックの地震対策について詳しくはこちらから



最新技術の開発で、移動の“安全・安心”を強化



災害時も安心できる、縦のインフラ

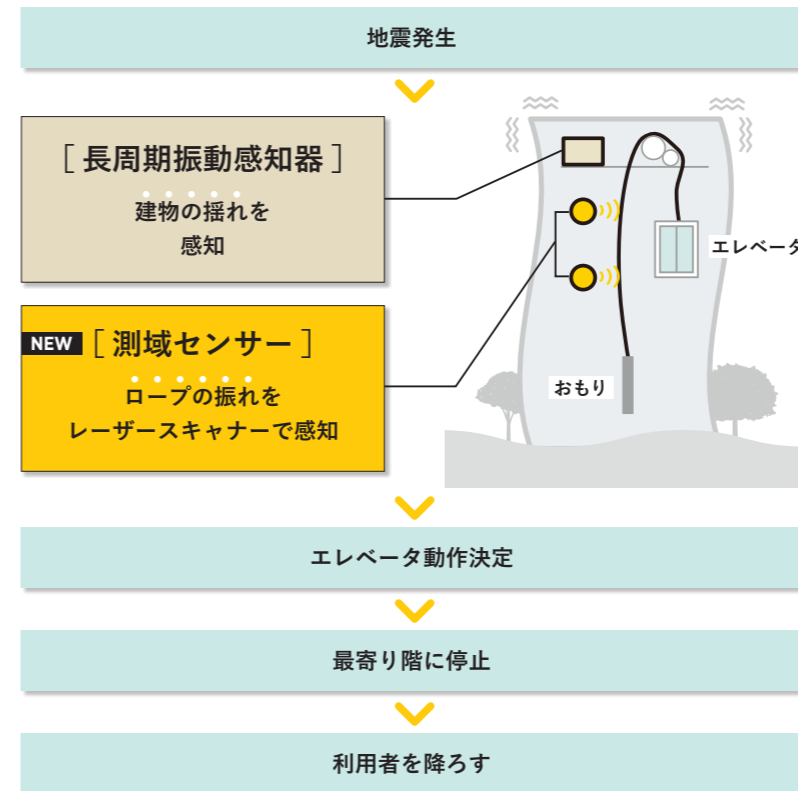
エレベータは、高層ビルや高層マンションにおける縦の移動を一手に担い、都市機能を支える社会インフラの一つです。フジテックは、災害に強いエレベータ技術の開発を通じて、人々の“安全・安心”と社会インフラを守ることが使命と考え、さまざまな災害対策を講じてきました。そして今回、当社では高層建物の地震対策として、「測域センサー」を用いた地震時の長周期地震動[※]に対する新たな検知技術を開発。地震時にエレベータを安全停止させるための判断がより正確になりました。

高層建築向けエレベータには、地震を感知すると最寄り階で停止する「長周期地震時管制運転」の機能があります。従来のこの機能では、建物の揺れからエレベータのロープの振れを推測し、安全停止機能により利用者の安全を確保し、機器の故障を防いできました。これに加えて「測域センサー」を用いた新たな機能では、センサーによってロープ自体の振れを直接監視し、エレベータの運行可否を判断。地震発生後のエレベータの状況に即した安全停止や、運転再開がいち早く安全に行えるようになりました。

フジテックはこれからも、災害に強いエレベータの技術開発に取り組み、“安全・安心”で快適なまちづくりに貢献します。

[※]長周期地震動とは、数秒から数十秒の周期で建物がゆっくりと揺れる地震動のこと。数百キロ離れた遠方まで揺れが伝わるとされ、特に高層の建物は共振が発生しやすい特性があります。

エレベータの早期復旧を実現する「測域センサー」



「地震時管制運転」とは？

地震時管制運転とは、地震の発生時にエレベータが最寄り階に停止して扉を開き、利用者がエレベータから安全に避難できるようサポートし、閉じ込めやエレベータの被害拡大を防ぐ機能のことです。この機能は建築基準法で搭載が義務付けられています。

「測域センサー」の働き

従来の「長周期振動感知器」のほかに、昇降路内の梁の2カ所に「測域センサー」を設置。ロープの振れを直接監視することで地震や揺れの発生時には、「長周期振動感知器」の情報と総合して、管制運転への切り替えを判定します。

この技術によって、地震などによるロープの振れをより正確に感知し、利用者の安全を確保することが可能になりました。また、地震や揺れが収束したことも迅速に判定できるため、停止後のより早い復旧が可能になりました。



解説
フジテック株式会社
研究開発本部
知能システム部
高木 耕司

フジテックでは、基本的な地震対策機能もフルラインアップしています

P波センサー付地震時管制運転

地震発生時に最初に伝わるP波を検知し、エレベータを最寄り階に速やかに着床させることで利用者の閉じ込めを回避。利用者の安全を守ります。

[※]2009年以降のエレベータには必ず装備されています。2009年以前に設置したエレベータには改修工事で追加できます。

リスタート運転

最寄り階への到着前にエレベータが停止しても、安全装置の復帰を受けて運転を再開。低速で利用者を最寄り階に送り届けることで、閉じ込めを防ぎます。

自動診断・復旧運転

運転休止後、エレベータの損傷の有無を自動で診断。大きな異常がなければ復旧運転を開始し、専門技術者の到着を待たずに利用を再開できます。

[※]オプション機能です。既設のエレベータには改修工事で追加できます。

[Vol. 07]

ヤフー株式会社 「オンライン懇親会セット」



社員食堂の味を全国へ宅配 「食」で深めるコミュニケーション

ヤフー株式会社紀尾井町本社の社員食堂は、社員の健康データや地産食材を活用したメニューが多彩。ランチタイムはもちろん、ミーティングや社内外の会食の場として頻繁に使われていました。しかし、社員の働き方が在宅勤務へ変化したことで、こうした会食の機会はオンラインに。そこで2020年12月、画面越しでも食堂の味を一緒に楽しんでほしいと、この食堂から社員の自宅に宅配する「オンライン懇親会セット」の提供がスタートしま

した。さっそく歓迎迎会などに取り入れられ、利用は月に3,600食に上るほど。本社でしか味わえなかった人気の味が楽しめる全国の社員から好評です。働き方の選択肢としてリモートワークが増える中、「オンライン懇親会セット」は今後も社員を「食」でつなぐコミュニケーションツールになりそうです。



紀尾井町本社にある社員食堂「BASE11」の様子。



ヤフー株式会社

【事業】 イーコマース事業・会員サービス事業・インターネット上の広告事業など
【本社所在地】 東京都 【従業員数】 約8,000名(2022年8月31日)



世界で活躍するフジテックパーソンに聞きました

フジテック・UK



フジテック・UK
メンテナンスマネジャー
ドミニク・ウィルディング
Dominic Wilding

MOVIE



シェフ

／三ツ星フードトラック始めました

監督／脚本／主演 ジョン・ファヴロー
出演者／ソフィア・ベルガラ、ジョン・レグイザモ、
スカーレット・ヨハンソン 他

主人公は高級レストランのシェフ。オーナーの命令で自分が作りたい料理を作れず、評論家にも酷評され、不満を募らせた彼は仕事を辞めてしまいます。そんな彼は再起を図るため、これまで疎遠だった息子連れ、フードトラックで料理を振る舞いながら旅をすることに。自分の料理で人を幸せにするという、本来やりたかったことを楽しむうちに、フードトラックは行く先々で評判となり、息子との間にも深い絆が生まれます。「自分のやりたいこと、好きなことをやる」。シンプルですが、これこそが何げない毎日を楽しく過ごす秘訣なのだと思います。

『シェフ 三ツ星フードトラック始めました』
デジタル配信
Blu-ray 1,980円(税込) / DVD 1,408円(税込)
発売・販売元：ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント
© 2014 Sous Chef, LLC. All Rights Reserved.



フジテック株式会社
グローバルオペレーション本部(長)付
三嶋 哲也

MOVIE



イエスマン

／“YES”は人生のパスワード

監督／ペイトン・リード
出演者／ジム・キャリー、
テレンス・スタンプ、ズーイー・デジャネル 他

仕事でもプライベートでも、事あるごとに「ノー」「嫌だ」と後ろ向きな態度を取ってきた男が、どんなことにも「イエス」と答えるようになったら、人生がどんどん変わり始めて……？
観た後に、とても明るく前向きになれるコメディ映画です。イエス＝可能性。何事にも「ノー」という消極的な人より、「イエス」と答えるポジティブな人のほうが人生は良い方向に進んでいくものでしょう。仕事を前に進める上でも、この気持ちを持って接することが大切。難しい案件でも詳しく内容を聞き、熟考して「イエス」と言えるようにしたいです。

『イエスマン “YES”は人生のパスワード』
ブルーレイ 2,619円(税込) / DVD 1,572円(税込)
発売元：ワーナー・ブラザーズホームエンターテイメント
販売元：NBCユニバーサル・エンターテイメント
© 2009 Warner Bros. Entertainment Inc.

仕事に効く！私のおすすめ

BOOK

&

MOVIE

Vol. 07

テーマ

健康的に働く
ヒントを得たいときに

※号はMOVIEのみ



1 「きりたんぼ鍋」は、雑炊とは全く違った食感でお米を楽しめるのが魅力。具やだしの味が染み込んだ「きりたんぼ」は味わい深く、とくに秋田県産の比内地鶏との相性は抜群。2 串に握り付けたご飯をあぶって作る香ばしい「たんぼ焼き」。形がミズクサの穂に似ているので、短い穂の意味で「たんぼ（短穂）」と呼ばれるようになった。鍋にはこれを切って入れたことから「きりたんぼ」に。



▶ 秋田犬



◀ なまはげ



1 秋の田沢湖では、紅葉で鮮やかに色づいた周囲の山々が湖面にびょうぶのように映し出され、岸边まで赤や黄金色に染まる絶景が楽しめる。ピークは10月下旬から11月上旬頃。2 湖畔に立つ美しいブロンズ像は、この地に語り継がれる伝説をもとに造られた「たつこ像」。永遠の美貌と若さを願った娘がいつしか竜に姿を変えて湖底に沈み、田沢湖の主となったと伝えられる。



ご当地の名品名所

連載 Vol. 07

国内外の各地で働くフジテックの社員がえりすぐった、さまざまなご当地情報をご紹介します。今回は「秋田県」にフォーカスして地域の魅力をお届けします。

今回は……
秋田県



【きりたんぼ】



◀ あきたこまち

山仕事のおにぎりから郷土料理に

秋 田名物といえば「きりたんぼ」。県北部で炭焼きや伐採など山仕事に携わる人たちが、持参したおにぎりを杉の棒に巻き付け、たき火で焼いて食べたのが始まりとされています。これを鶏鍋に入れた鍋料理が、やがて家庭でも作られるようになり、明治時代以降は冠婚葬祭などのおもてなし料理の定番に。昭和に入るとしょうゆベースのだしにきりたんぼや鶏肉、ゴボウ、セリなどが入った「きりたん

ぼ鍋」を提供する料理屋も増え、今では全国に知られる郷土料理です。毎年新米の季節には、鹿角市で「きりたんぼ発祥まつり」が開催され、発祥の味を再現した「雑出汁みそ風味の山子鍋」をはじめ、滋味あふれるさまざまなきりたんぼ鍋を味わうことができます。秋に訪れる際にはぜひ、新米のきりたんぼを堪能してみてください。

STAFF VOICE
現地スタッフのおすすめ

教えてくれたのは……
フジテック株式会社
北日本支社 東北支店
秋田営業所長
渡部 幸次

秋田特産さいとう トピコ店

食感が良く、地元で親しまれている「きりたんぼ」の有名メーカーです。地元ではスーパーなどで購入して、家族や親戚と家で楽しむことが多いですね。

〒010-0001 秋田県秋田市中通7-1-2
秋田ステーションビル『トピコ』2階
営業時間：8:00～20:00
定休日：年中無休 ☎018-832-8414

【田沢湖】



▶ 曲げわっぱ

日本一の深さを誇る神秘の湖

田 沢湖は水深約423.4mの日本一深い湖です。湖のシンボル「たつこ姫」の伝説とともに、雪深い山間部にありながら真冬でも凍ることのない不凍湖としても知られています。この深さによって湖水は妖しいまでの瑠璃色となり、湖面には新緑、紅葉、雪景色など四季折々の山々の姿が鮮やかに映し出されます。季節や時間によってさまざまに色を変える神秘的な美しさが田沢湖の魅力です。

湖の周囲は約20km。形はほぼ円形ですが、東岸には砂浜が広がり、北岸は岩場が続く変化に富んだ景観です。美のパワースポットとして人気の御座石神社をはじめ、周辺には名所・旧跡も数多く、ドライブやサイクリングでぐるりと湖畔を巡ることができます。遊覧船やキャンプ場、サウナ、水上スポーツなどレジャー施設も充実しているので、自然を満喫しながら休暇を楽しみたい方に絶好のスポットです。

STAFF VOICE
現地スタッフのおすすめ

教えてくれたのは……
フジテック株式会社
北日本支社 東北支店
秋田サービセンター 主管
戸田 経一

山のはちみつ屋

JR田沢湖駅から北へ約5km、ドーム型の建物が印象的。さまざまなはちみつやフルーツの試食ができ、併設のピザ工房の本格ナポリピザもおすすめ。

〒014-1201 秋田県仙北市田沢湖生保内宇石163-3
営業時間：9:00～17:30（※冬季は17:00まで）
定休日：年末年始
☎0120-038-318

エレベータ
エスカレータ

探訪

全国の納入先を巡る

Vol.07 [秋田・秋田市] あきた芸術劇場ミルハス

お話を伺ったのは…… 企画事業・広報課 平岡 愛 様



秋田を感じる空間に都会的なエスカレータ

2022年6月に開館した、あきた芸術劇場ミルハス。秋田県と秋田市が共同で整備した文化芸術の創造拠点です。高い音響性能と舞台機能を併せ持つ大ホール（2007席）や臨場感を重視した中ホール（800席）をはじめ、2つの小ホール、各種練習室などを備えています。内装には秋田杉がふんだんに使用されているほか、樺細工や川連漆器、大館曲げわっぱなど秋田の伝統工芸品が随所にちりばめられています。エントランスでまず目に

飛び込んでくるフジテックのエスカレータは、美しい間接照明とともに、劇場の顔としてお客さまから好評です。

2022年9月23日のグランドオープン以降は、これまで秋田では開催されてこなかった規模やアーティストの公演が続々と予定されています。公演がない日も気軽にご利用いただけるので、ぜひご来場ください。これからも世界へ多様な文化を発信し、感動と交流の輪を広げられる施設を目指してまいります。

あきた芸術劇場ミルハス

所在地 〒010-0875 秋田県秋田市千秋明徳町2-52

アクセス JR秋田駅から徒歩10分

秋田自動車道・秋田中央ICから10分（約6km）

昇降機設置台数 エレベータ1台・エスカレータ4台

公式サイト <https://akiat.jp/>



フジテック株式会社

USNET [アスネット] 2022 AUTUMN No.66 (2022年10月1日発行)

編集・発行/フジテック株式会社 東京本社 広報室

〒108-8307 東京都港区白金1丁目17番地3号 TEL.03-4330-8233 www.fujitec.co.jp

USNETのバックナンバーは
フジテックのコーポレートサイトから

